

## 平成 25 年度病害虫発生予察情報 特殊報 第 3 号

平成 25 年 12 月 4 日  
広島県農林水産局  
( 農 業 技 術 課 )

- 1 病害虫名 リンドウ黒斑病
- 2 病原名 *Alternaria alternata* (Fries) Keissler
- 3 発生作物 りんどう

### 4 発生経過

平成25年8月上旬頃から、広島県内の露地栽培りんどうにおいて、葉に輪紋状の斑点（図1）、がく片の枯死（図2）、花卉の斑点（図3）を生じ、後に葉枯れ症状を示す株が見られた。

広島県立総合技術研究所農業技術センターにおいて、原因究明を行ったところ、*Alternaria* 属菌が分離され（図4）、接種により同様の病徴が再現されたことから、本県初発生の「リンドウ黒斑病」であることを確認した。

本病は、平成12年に岩手県で初めて発生が確認され、平成14年に*Alternaria alternata* による病害であることが報告された。その後、長野県、福島県、岡山県で発生が報告されている。

### 5 病徴と発生生態

はじめ、葉に直径約 5 mm の褐色の斑点が発生し、徐々に輪紋状に病斑が拡大して（図1）、葉全体が枯れる。病勢が進展すると、がく片や花卉にも褐色の斑点を生じる（図2、図3）。本病の病斑は、葉枯病や灰色かび病と酷似しているので注意が必要である。

岩手県の報告によると、発病適温は20～25℃で、接種後3日目頃から褐色の葉枯れが認められ、5日目には大型病斑が形成される。

本病が感染した被害植物の残さは、翌年の第一次伝染源となることが考えられる。

### 6 防除対策

- (1) 発病を確認したら、速やかに薬剤防除を行う（表）。
- (2) 発病葉、被害残さは、ほ場外に持ち出し、焼却するなど適切に処分する。

表 リンドウ黒斑病に登録のある薬剤の例（平成25年12月3日現在）

薬剤名（商品名）
クレソキシムメチル水和剤（ストロビーフロアブル）
メパニピリム水和剤（フルピカフロアブル）



図1 黒斑病の病徴（本葉の輪紋症状）

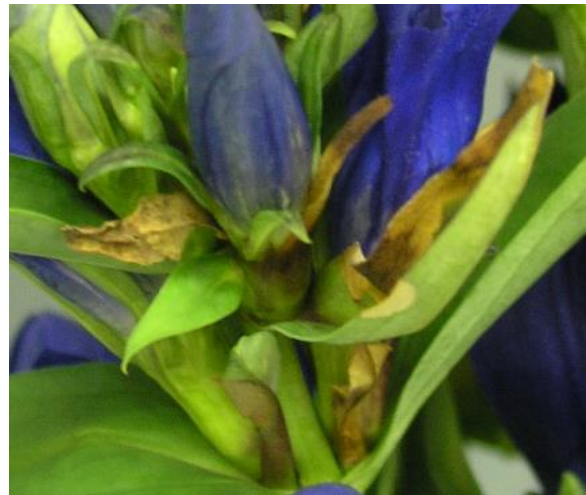


図2 黒斑病の病徴（がく片の枯れ）



図3 黒斑病の病徴（花卉の斑点）



図4 リンドウ黒斑病菌

○病害虫発生情報に関するお問い合わせ先

西部農業技術指導所・西部病害虫防除所（東広島市八本松町原 6869 電話 082-420-9662）

東部農業技術指導所・東部病害虫防除所（福山市三吉町一丁目 1-1 電話 084-921-1311）

北部農業技術指導所・北部病害虫防除所（三次市十日市東四丁目 6-1 電話 0824-63-5181）

広島県立総合技術研究所

農業技術センター生産環境研究部（東広島市八本松町原 6869 電話 082-429-0521）

農林水産局農業技術課（広島市中区基町 10-52 電話 082-513-3559）

○病害虫発生予察情報は、インターネットでも提供しています。

アドレス：広島県農業情報ローカルネット 「病害虫情報」－「病害虫発生予察情報」

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/byougaicyuuboujyo.html>